

2022 年度 第 3 回 CTK 放送番組審議会 議事録

2023 年 3 月 22 日

14 : 00 ~ 15 : 30

ケーブルテレビ可児 会議室

【出席委員】

委員長	海道 清信	(名城大学名誉教授)
副委員長	伊藤 佳林	(可児市 NPO 協会 職員)
委員	今井 悠一郎	(可児青年会議所 直前理事長)
	大脇 慶二	(株式会社サカエ屋 代表取締役)
	細野 裕子	(中山道案内人倶楽部 会長)

(敬称略、五十音順)

【当社事務局】

	谷口 公一	(代表取締役社長)
	石川 浩紀	(取締役兼 ICT ソリューション部長兼メディアサービス部長)
	長尾 武彦	(メディアサービス部担当部長)
	岸野 直美	(メディアサービス部メディアグループ長)
	種田 眞子	(メディアサービス部メディアグループ) (記録係)

事務局：皆様ご出席いただきましてありがとうございます。2022 年度第 3 回放送番組審議会を始めさせていただきます。それでは開催にあたりまして社長の谷口がご挨拶をさせていただきます。

1. 挨拶

谷口社長：弊社の番組に関しては、前回番組審議会を開催した去年 12 月以降、成人式の生中継や市内・町内の中学校の卒業式を収録し、放送しました。

また、種田眞子がInstagramとCTK12チャンネルで同時生中継をする「まちリポ」を放送しています。こちらは新しい取り組みとして定着しつつあります。第 1 回の番組審議会でもご覧いただいた、「地域・人の wa プロジェクト」も継続していき、社屋の前で畑をつくり、今はグリーンピースなどを育てています。

そして、4 月以降は新番組の放送が始まります。新番組の中には、岐阜県内のケ

ケーブルテレビ局が共同で県内の道の駅を順番に2年程度かけて紹介する番組や、それぞれの局が放送している地域の問題をまとめて1本にした番組がありますので、機会があればご覧いただければと思います。本日はよろしく申し上げます。

2. 議事

(1) 視聴番組についてのご意見・ご感想

- ①「そらさんぼ（愛知用水）」
- ②「週刊CTKフラッシュニュース」
- ③「アルバムの記憶（ヘアサロン鈴木）」
- ④「特別番組 可児市 成人式・御嵩町 二十歳の集い」

① そらさんぼ（愛知用水）

事務局：この番組については以前も紹介させていただいたこともあるかもしれませんが、おりベネットワーク、ひまわりネットワーク、CCNetと弊社の4局で順番に制作しています。今回の愛知用水はCTKが制作したものです。愛知用水の兼山取水口から土田までの幹線を撮影しました。ご覧ください。

<視聴ご意見>

委員長：皆さんのご意見やご感想について聞かせていただければと思います。

委員：年齢がわかってしましますが、小学校の頃に愛知用水ができました。住まいも御嵩町で、近くの田んぼなどが愛知用水の水を利用していることは知っていました。ですが、用水路の真ん中に壁を造り、有事の際は片方を止めて片方を動かすようになっていたことや、製紙工場がたくさんの水を使っていること、また、知多半島の先端までこの水が利用されていることなどは初めて知ったので、感慨深かったです。そして、こちらの映像は子供たちの社会科の授業でも使えそうだなと思いました。

ひとつ要望ですが、建物の名称について、テロップが出ているところと出ていないところがありました。場所の案内がないと気になるので、テロップをつけていただけるといいなと思います。

委員：前の方の意見と同じですが、位置の情報が飛び飛びでしかでてきていません。

ずいぶん前にみた名鉄沿線を映した「そらさんぼ」や、自転車の番組の時も同じ意見をいったかと思いますが、現在地の地図がずっと出ていと分かりやすいと思います。

製紙工場は夜景がきれいだと思うので、夜景などもPRがてら紹介できるといいと思います。

委員：とてもいい番組だと思います。社会科の勉強にもなりそうです。今回は、自分の子供に解説しながら見ました。1つ思ったのは、最初の水を取り入れるところのトンネルにはドローンが入っていけないでしょうか。トンネルの中に入ることができれば、もっと迫力のある映像が撮れそうですよね。

事務局：トンネルの内部に網があるので中に入るのがむずかしく、またドローンに照明がついていないので暗くて何も映らないと思います。

委員：細かい部分ですが、トンネル内の暗闇から兼山の渓谷が見られたらカッコいいなと思いました。でもとてもいい番組でした。

委員：製紙工場の外観や場所は知っていますが、工場の中には歩いて入っていけないので、興味深い映像でした。また、上空からの映像が好きな人もいるので番組で見ることができて楽しいと感じる人も多いと思います。この番組は、どういう人に向けて作られているのでしょうか。

事務局：ドローンの撮影が流行りだしたころ、空からの映像が見たいという声があったことに加え、社内でも「空からの映像を撮って見たら面白いのでは？」という思いがあったことから始まりました。ドローンの映像を使うことで、視点を変え、普段見ることができない面白さを感じてもらえる番組かなと思っています。これでより地域を好きになってもらう、親しみを持ってもらうものと思って番組を作っています。

委員長：製紙工場は撮影OKだったんですか。

事務局：事前に撮影したい場所をピックアップし、先方に許可を取って撮影しています。工場の中は撮影出来ませんでしたが、外から見える部分はほとんど撮影の許可がとれました。

委員長：この番組を見れば工場で何をしているのかわかるので、案外いいなと思いました。他の意見ですが、音楽がさみしいイメージ。もっと明るい曲でもいいのではないかと思います。

② 週刊 CTK フラッシュニュース

<視聴ご意見>

委員：昨年、自分が人前で地域の話話を話すこともあったので、こうやって地元だけの情報を知ることができる番組があると、話すネタになり、とても助かりました。自分と同じように地元だけの情報を知りたいという人はいると思うのでニーズがあると思います。

委員：細かい部分になるのですが、火災のニュースを「2本」と数えるのは正しいのでしょうか？ 火災を数える時に使う助数詞は「件」ではないのでしょうか。

事務局：ニュースの数を数える時は「2本」、事件・火災などを数える時は「2件」と数えています。

委員長：週刊 CTK フラッシュニュースの原稿は全て、ニュースを読んでいる種田さんが作っているのですか？

事務局：そうではありません。取材した担当者が原稿を書き、管理職が内容をチェックしています。

委員長：事件・事故について報道する基準はありますか。

事務局：弊社では、市民のみなさんが事件・事故に遭わないために啓発ができるような内容、また市民のみなさんにとって身近で、関心がありそうな事件・事故のみを協議して取り扱っています。

交通事故に関して、死亡事故は基本的に報道することにしています。火災に関して、林野火災などで規模が小さいものは取り上げていませんが、人が亡くなってしまう火災は、火災防止という観点で取り上げています。

委員長：民放のテレビ局だと、コメンテーターや学識者が出てきて注意喚起をするような調査報道系のニュースがありますが、CTK ではできないのでしょうか。

事務局：学識経験者を呼ぶまではできていないのですが、以前の火災のニュースでは、一年間の火災データを入れたり、どういう状況で亡くなった人が多いかなどの情報を入れたこともあります。火災だけでなく、交通事故でも同じことが言えると思うの

ですが、可児署管内で交通事故が多いところはどこなのかという特集を警察に協力してもらいながら制作しており、3月末に放送します。

委員長：警察からの犯罪情報・交通事故情報などはHPでも出ていますが、解説がないとわからないので情報をまとめていただけるといいと思います。

事務局：警察・消防も1年間の統計を出していて、データもあるので、今後なるべく報道ができるようにしたいと考えています。

委員：火災の現場に可茂消防がいる映像がありましたが、それを撮るためには、火災発生後、かなり早い段階で現場にいないといけません。よく民放のニュース番組で視聴者が投稿した火災現場などの映像が放送されているときがありますが、CTKは募集をしているのでしょうか。

事務局：視聴者提供の映像については災害が起きた時に災害報道に役立つという意味もあり、「何かあれば写真や映像を送ってください」と呼びかけていますが、事件・事故に関して写真や映像が送られてきたことはありません。もし今後、投稿があればケースバイケースで判断していきます。しかし、いただいたものをそのまま放送することはありません。頂いた映像が正確なものなのかどうかを、部員が確認したうえでしか番組では放送しません。

委員：可児工業高校の卒業生のニュースがありましたが、進路を決めようという若い人たちにとって、あのようなお話を聞ける機会があるのはいいと思います。講話した卒業生がもつ技術だけではなく、人としての生き方に対しても発信しているのもいいなと思いました。

③ アルバムの記憶（ヘアサロン鈴木）

事務局：この番組は広見の商店街に昔からある理髪店の3代目鈴木喜洋さんを紹介しています。町の歴史と共に鈴木さんの半生を振り返るものになっています。

〈視聴ご意見〉

委員長：広見は商店街だったと、今は知らない人もいますよね。

委員：何年前に私もこの番組に出ました。

委員長：この番組はどれくらいの時間をかけて取材するのですか？

委員：自分の時はCTKのスタッフ2人が取材にやってきて、4時間くらい色々な話をしました。

委員長：1年間に何件取材するのですか。

事務局：月に1件です。

委員：私も観光ボランティアをしていることがきっかけで、この番組の取材を受けたことがあります。鈴木さんは、写真がたくさんそろっているから番組的にもよかったです。アルバムに写真を残さない時代になってきているので、番組自体のあり方が今後どうなっていくのかなと思います。

委員：自分が取材を受けて、町の歴史について再発見することもありました。昔話をして改めて思い出すこともありますよね。

委員長：この番組は人の半生中心なのか、町の歴史中心のものなのかどちらなのでしょう。

事務局：もともとは写真を見ながら町の歴史を振り返りたいという思いがありましたが、取材対象によっては自分の写真はあっても、町の写真は無いという人も多いです。そのような時はその人の半生をメインで振り返ることもあります。今後番組をどうしていこうか思案中です。

委員長：可児駅周辺地区の区画整理事業が完了しましたが、区画整理をする以前の写真が案外ないと聞きました。大規模な事業でも、改修前の写真は案外残っていないのですね。地域の変化は時がたつととても懐かしく感じられますし、写真で歴史を振り返るのは面白いです。

委員：ある個人の半生を振り返るもの場合は、自分の身近な人の話なら面白いと思いますが、存じ上げない方だと語り手によっては番組として成り立つかどうか、リスクがあると思います。

事務局：おっしゃる通りで人探しにとっても苦労しています。昔の写真を持っている方に限定して番組出演者を探しているのですが、町の風景が分かるように写真を撮っている

人はあまりいません。出演者の自分語りだけにならないよう、打ち合わせ時に一度写真を見せて頂いて、番組として紹介出来そうなら出演のお願いをしていますが、そもそも写真を持っている人を探すのが難しいです。

委員長：出演者の公募はしていますか？

事務局：以前はテレビでも呼びかけていたのですが、なかなか応募が来ないのが現状です。そのため、自分たちで探してくるか、知り合いから知り合いを紹介してもらうことが多くなっています。ぜひみなさんのお知り合いの中に、写真をたくさん持っていてお話がうまいよという方がいらっしゃったら紹介してください。

委員長：NPOなどで頑張って活動している人の中には、写真をたくさん持っている人も多いのでは？

委員：活動の記録はあっても町の写真はない人が多いかもしれません。そして、代表の方1人で頑張ってきた団体ならいいですが、みんなで協力して活動を頑張ってきたのに、1人が我が物顔で語らないでと思う人もいるかもしれません。難しいところですよ。

委員長：団地の住民の方と勉強会をしているのですが、若葉台が入居50周年になったそうです。可児市で一番古い団地だと思うので、昔の写真もあるかもしれません。住宅団地の見た目は似たようなものではあるかもしれませんが、団地を取り上げるのはどうですか。ほかにも、久々利の町並みには大きな変化がないかもしれませんが、むしろ変わっていないことが逆にいいかもしれません。

④ 特別番組 可児市 成人式・御嵩町 二十歳の集い

事務局：可児市の成人式、御嵩町の二十歳の集いの様子です。1時間の番組ですが要所要所をピックアップして再編集したものです。

〈視聴ご意見〉

委員長：18歳が成人年齢になったので、過渡期ということもありますが、式典の名称が全国で色々ですよ。番組名も可児市は「成人式」、御嵩町は「二十歳の集い」でした。この違いはどうしてですか？

事務局：行政が使っている名称を使いました。

委員長：2種類の名称があるとわかりにくいなと感じました。

事務局：御嵩町に可児市と統一するために、番組名を「成人式」としても良いか聞きましたが、「二十歳の集い」として下さいと言われてました。

委員長：可児市は20歳の人が式典に参加しているのですか？

事務局：可児市も御嵩町も20歳の人に参加しています。

委員：新成人のみなさんがカメラの前でも上手に話されるからすごいなと思いました。

委員長：番組で突然出てきたスライドショーに関する説明がなかったのですが、これは当日式典で流れたものをそのままカメラで撮って放送しているのですか？ どんなものなのかよく分かりませんでした。

事務局：可児市成人式実行委員会が作ったスライドショーで、当日式典で流れたものをそのまま放送しています。説明が足りなかったかもしれませんが、可児市の式典は生中継しています。御嵩町の式典に関しては可児市と同時に生中継ができないので、一旦収録し、可児市の成人式と合わせて後日放送しています。今回見て頂いたのはその1時間の番組をさらに短くしたものです。

委員：最後のインタビューはケーブルテレビ可児でやっているのでしょうか？ 将来なりたい職業で「看護師」や「消防士」などと答えられていましたが、あえて選んで編集したのですか？

事務局：インタビューで答えてくださった人の回答は、大体そんな感じでした。
毎年、可児市の式典の様子は生中継していたのですが、新成人の生の声を市民のみなさんにもっと見てほしいなという思いで、以前の番組審議会でも見て頂いた「まちりぽ！」という生中継番組を式典の1部と2部の間に放送しました。会場から外に出てきた新成人にたくさんインタビューをしました。そのインタビューと、特別番組用にインタビューしたものを混ぜています。御嵩町も現場に行ったスタッフがインタビューをしています。

委員：成人式などのイベント中継を保護者が見たくてケーブルテレビを契約するという話も聞いたことがあります。

事務局：今年に限るとそのような声はありませんでした。去年ネット配信もしたんですが今年度は見送りました。

事務局：放送日のお問い合わせはありましたし、こちらが知らないだけで成人式をきっかけにご加入いただいた方もいるかもしれません。成人式に限らなければ、子どもたちの様子が見られるから入りたいという声もあります。

(2) CTK11ch・12ch の番組全般についてのご意見・ご感想

委員長：他の番組などについて、何か意見や感想はありますか。

委員：冒頭、谷口社長から WBC の話がありましたが、試合状況もネットですぐ確認することができました。加入者から料金ももらっているケーブルテレビ局としては、YouTube に無料で番組を見られるようにしてしまうと、どこからお金を取ればいいのかという話にもなるかもしれませんが、逆に番組をたくさん見て頂いたほうがいいという考えもあると思います。私くらいの年代でもテレビよりも YouTube をみっていますが、他の方はいかがですか？

委員：私は今、地上波の番組はあまり見ておらず、テレビの画面を使ってネットフリックスや YouTube を見えています。

委員：このように時代が変わってきているので、YouTube にアップしても経営的に回っていく仕組みを作ったほうがいいかなと思います。CM を出す側としても、より多くの人に見てもらったほうが CM の出しがいもあるし、企業として、もっと新しいことに取り組んでいただきたいです。

谷口社長：私たちも YouTube に全く情報を載せていないというわけではありません。過去に動画を配信したこともありますが、それは収益とかではなく、幅広い選択肢として提供したいという思いが中心です。そして、CTK アプリを 4 月から立ち上げます。このアプリを使えば、加入者の方はスマホで「かにみた！」などの自社制作番組をフルバージョンで見ることができ、非加入者の方は冒頭数十秒だけ見ることができるので、加入促進にもつなげようという狙いです。これからの時代、テレビを持たない若者が増えていくので、新しいことを考えていかないといけないと思っています。

委員長：今は小学生でもパソコンを見ているよ。若くなればなるほどテレビは見なくなっていきます。長い目で見るとケーブルテレビのあり方も考えないといけないと思います。SNSもそうですが、自分が選択しているように思えても、知らないうちに売り込まれているような流れがありますよね。そんな世の中になってきましたが、地域密着型の会社なので、地域の人たちの関心があることを幅広く取り上げていくというのが重要なのではないのでしょうか。

また、ケーブルテレビの番組を小学生などの小さいお子さんに学校で見ただくのはどうだろうかと思います。学校教育の中でもローカルな地域の問題を取り上げようという流れがあるので、それを学校と一緒に取り組んだり、子供たちが一緒に番組を作っていくといいのかもしれない。

他にも桜ヶ丘ハイツの住民のみなさんを中心に大森の湿地を守る取り組みをしていて、子どもたちがたくさん活動に来ています。子どもたちが小さいときに、地域に関心をもって学んでいけるようにするのもケーブルテレビの役割なのではないかと思います。

(3) CTK12ch の 2023 年度編成について

事務局：皆様のお手元に 2023 年 4 月の番組ガイド誌と番組表をお配りしました。

4 月から「かにみた！」の放送時間が 90 分から 60 分に変わります。今までの番組尺が長いという意見があったので、それを見やすい番組尺にしました。近隣市町の情報をお届けする他社の番組は「ぶらっとお出かけ BOX」として、まとめる形にしました。

「地域・人の wa プロジェクト」に関して、4 月以降は FM さらパーソナリティーのじゅんじゅんに代わり、営業部の丹羽ひらりが出演し、番組も「ひらりのツナガレストラン」としてリニューアルします。

他の新番組としては岐阜県内のケーブルテレビ局 9 局が共同で作る番組が始まります。1 目が道の駅を紹介する番組「岐阜県 道の駅めぐり」です。4 月は岐阜市のケーブルテレビの CCN が制作した「道の駅 武芸川」とおりベネットワークの「道の駅 志野・織部」を放送し、5 月後半に CTK が担当で、可児市の「道の駅 可児ッテ」を紹介します。この番組は 2 年にわたって県内全ての道の駅を紹介します。道の駅によって規模がさまざまなので他の道の駅と一緒に紹介する場合もあるかもしれません。2 目が「岐阜トピ」。各ケーブルテレビ局が作ったニュースをもちよって 15 分程度にまとめて放送します。他には、仮面ライダーを演じたこともある俳優が知多半島のおすすめスポットなどを紹介する番組や家康関連の番組も追加しました。また、今年、弊社は開局 30 周年なので 30 周年記念番組も作っていただけるとと思います。「懐かしの映像」という番組がありますが、昔の番組を

放送する枠で、地域のクラブ紹介の番組や特番も放送する予定です。

「かにみた！」でウィークリーニュースが始まるまでは、開局当初からニュースはずっとデイリーでした。おそらくこの地域の映像資産を最も多く持っているので、それを生かしていきたいと思います。

3. 報告事項

事務局：前回12月に開催して以降、本日までの間に総務省に報告が必要となる放送事故はありませんでした。

本日はご出席いただきありがとうございました。

以上